



がん医療相談だより

No.58 平成29年2月号



今月のおはなし

あせらずに！よく相談して！最後に自分で決めて！

広島大学病院 放射線部長、放射線治療科科長 教授
広島がん高精度放射線治療センター センター長

永田 靖



本たよりを手にとられる皆様の中には、現在または過去にがんになられた方、またご家族ががんで治療を受けられた方、そして将来がんになることに不安な方など、いろいろな方がおられることと思います。私よりみなさんにお伝えしたい事は以下の4つのことです。

まず一つ目は、現在は2人に1人が生涯にがんになるということで、高齢化社会の現在、がんは身近になったということです。「身内に全く1人もがんがないので、自分は大丈夫と油断していたが、自分がなぜがんになったのか？」とお話される患者さんはたくさんおられます。平均寿命が伸び、かつ食生活や環境の変化でがんが増えているようです。そのために、我々や広島県は「がん検診」を強くおすすめしています。

次に現在ではがんになっても10年以上生存される方が、約60%おられる事です。これは、近年の検査法や治療法そして予防法や検診法の進歩によるもので、一昔前の「がんは不治の病」の時代からは大きく変わっています。そのため、がんになっても決して慌てる必要はありません。

3番目に、多くのがんは慢性にゆっくり進行するものであるということです。私が診察させていただいた患者さんの中には、「自分のがんが急速に進行するのではないかと放っておいたら、この1-2週間の間に急速に進行し転移し、手遅れになるのではないかと」との恐怖に襲われる方がたくさんおられます。しかし、実際には多くのがんは、何年かの経過でゆっくり進行し、そしてある程度の大きさになって始めて発見されるものです。そのため、1-2週間で手遅れになるようなことは通常ありません。むしろ治療を開始する前に十分な時間をかけて、いろいろな検査を行ってがんの進行度を決定することが大変重要です。

最後に、治療法の選択は、最初にごんを見つけてくれた先生（多くは開業医の先生）、そしてがんを確定してくれた先生（各診療科の先生）、またいろいろな治療法を行ってくれる先生（手術と放射線治療と抗がん剤の専門医）のいろいろな立場の医師の意見を聞いて、最終的に自分で決めることが重要であると思います。現在は、多くのがんにおいてガイドラインといわれる標準的な治療法が決まっていますが、たとえば食道癌や前立腺癌においても、手術と放射線治療とが同列に扱われています。どちらの治療法が自分に適しているかを、それぞれ専門の先生の意見を聞いて、また家族の意見を聞いて、そして最終的にゆっくり考えて、自分で決めることが重要であると思います。

私の専門の放射線治療は、近年画像診断技術の進歩やコンピュータ技術の進歩により、大きく変革しました。特に機械工学の進歩により、病変近くに正確に線量を集中することが可能となり、いわゆる高精度放射線治療技術の進歩、特に肺癌や肝癌に対する定位放射線照射（ピンポイント照射）、前立腺癌や頭頸部癌に対する強度変調放射線治療、最新の種々の画像誘導放射線治療装置も開発され、平成27年10月に広島駅新幹線口が開業致しました広島がん高精度放射線治療センター（ハイブラック）と広島大学は連携して「切らずにがんをなおす治療」を推進しております。

医学の進歩はめざましく、がんになっても皆さんが元気に回復されるように、これからも努めて参ります。



冊子などのご案内

がん患者さんのための
地域の療養情報サポートブック
(平成28年8月改訂)

患者さんへ



ご家族の方へ

大切な人が
がんになったとき

★冊子の閲覧は診療棟2階健康情報プラザや

<http://www.cancerchannel.jp/posts/category/booklet> などでどうぞ！

患者支援センターにも置いてあります。お気軽に声をおかけください



患者サロンのご案内

前回の患者サロン「婦人科がんの基礎と治療」は都合により急遽中止となり、大変申し訳ございませんでした。

5月18日に再度予定しておりますので、ご参加ください。

次のサロン

平成29年3月16日(木) 13:30~14:30

臨床管理棟 3階「3F2会議室」

「抗癌剤他薬剤によるがん治療の最新について」
がん化学療法科 医師 妹尾 直



患者おしゃべり会のご案内

開催日 平成29年2月28日(火) 13:30~14:30
(★3月は28日(火)の予定です)

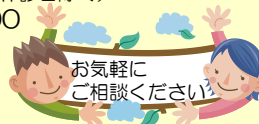
対象者 がんと診断された方とそのご家族
場所 診療棟2階 健康情報プラザ(入口の写真です)
料金 無料(お気軽にご参加ください)



がん医療相談(がん相談支援センター)

(診療棟1階 がん治療センター・患者支援センター内)

連絡先 082-257-1525
相談日 月~金曜日(外来休診日除く)
時間 9:00~17:00
相談方法 電話相談
来室による相談
料金 無料



がん医療相談(がん相談支援センター)案内図

